

十一屋小学校	ICT教育重点推進校
--------	------------

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 主体的に学習に取り組むための工夫

児童の興味関心や知的好奇心を高めるため、授業構成や導入、教材・教具、全員が自分の考えを持つための手立てなどのあり方を日々の授業や研究授業を通して探っていく。



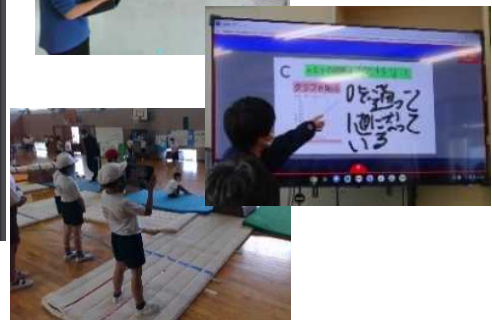
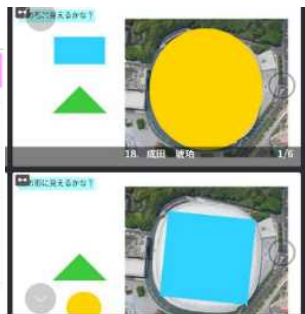
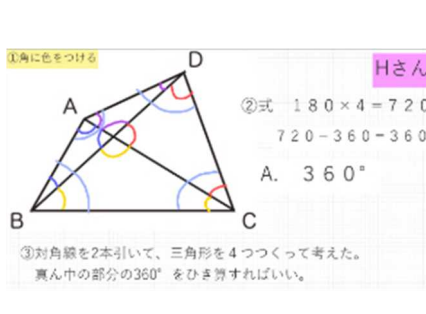
(2) 重点2 ねらいを明確にしよさを実感できる交流の工夫

課題に対する自分の思いや考えを伝えたい、話し合いたいという気持ちを児童に持たせ、よさを実感できる交流の中で児童の理解にとって効果的な場面について探っていく。また、授業後の自分の中の変化や気づきを意識できるよう問いかける。



(3) 重点1・2におけるICT活用の工夫

ICT機器の活用において、目的（調査活動、思考活動、協働活動、製作活動、知識・技能の定着）を持ち多様な子どもたちの学びを保障するICTの活用について実践を積み重ねていく。



2 取組の検証

児童・教員アンケートや単元テスト等による検証を行った。児童アンケート「どんな課題で学習していくか見通しを持つことができ、分からないことが分かった」の項目では、見通しを持って学習に取り組んでいた児童の割合が11.5%向上していた。

3 成果と課題

<成果について>

- ・アンケート項目の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」において、肯定的評価の割合が向上していることから、ICT機器等を活用し、導入で学習の見通しを持たせられたことの効果があった。
- ・基礎学力の定着を図る自校テストの平均が上がっており、基礎基本の力が少しずつついていると考えられる。

<課題について>

- ・複数の事象、資料、データ等から、答えを見つけたり、考えを引用・形成・表現したりする力をつけていくために、考えの交流場面における充実を図っていく必要があると考える。